

ほっかいどう

広報紙

150

2018年は、北海道命名150年
その先の、道へ。北海道

年5回発行
5・7・9・11・2月の下旬

北海道

当たる!
道産品
裏表紙をチェック!

2018年
10月号
平成30年9月発行
通巻227号

【特集】科学技術で描く、未来の北海道

未来の北海道のためにできること。 科学技術を仕事や暮らしに生かす 新たな取り組みを進めます。

基本目標1
持続的な
経済成長の
実現

無人運転トラクターが活躍
トラクターの自動走行や衛星データなどの利用で、農作業を完全自動化

人とロボットが働く現場
人手が足りない製造業などの現場にロボットを導入することで、生産性が向上

道内すみずみに安心の医療
AIやIoTなどを活用して、遠隔地でも受診ができたり、患者自身が治療法を選べたりする時代へ

基本目標2
安全・安心な
生活基盤の
創造

AIが災害から暮らしを守る
過去のデータからAIが災害を予測し、災害現場ではロボットが生産者を識別して救助

基本目標3
環境と調和した
持続可能な
社会の実現

水素を使った燃料電池自動車などが普及
電気や水素エネルギーを活用した自動車やバスで、CO₂を削減し、環境にやさしい社会へ

エネルギー自給率がアップ
地域の特性に合わせ、太陽光、風力、地熱、バイオマスなどの新エネルギーが拡大



北海道の豊かな未来を実現するために

豊かな自然環境や良質な食、観光・エネルギー資源などに恵まれている北海道。その一方で、全国を上回るスピードで進む人口減少・高齢化の波は、私たちの生活にさまざまな影響を与え始めています。北海道の優れた資源を生かしながら多様化する課題を解決し、未来の北海道をつかっていくために、どんなことができるでしょうか。

将来にわたって豊かな暮らしや確かな成長を実現する鍵の一つは、AI^{*1}、IoT^{*2}、ロボットなどの科学技術イノベーション^{*3}です。こうした中、道では、ことし3月に新しい「北海道科学技術振興計画」を策定しました。この計画では、科学技術の振興を通じて目指す北海道の姿として、3つの基本目標を掲げています。

- *1 AI/人工知能。コンピューターを使って、人間の知能の働きを人工的に実現したもの。
- *2 IoT/「モノのインターネット」と呼ばれ、身の周りのものがインターネットにつながる仕組みのこと。
- *3 イノベーション/科学的な発見や発明などによる知的・文化的・社会的価値の創造に結び付ける革新的なこと。

3つの基本目標に向かって科学技術を推進

基本目標1
持続的な経済成長の実現
豊かな資源や「ものづくり」の技術など、北海道の強みや可能性を生かし、持続して成長する経済を実現

基本目標2
安全・安心な生活基盤の創造
健康で心豊かな生活に必要な基盤を整備し、誰もがこの先も住み続けたい社会を実現

基本目標3
環境と調和した持続可能な社会の実現
循環的な資源利用や温室効果ガスの排出削減などを進め、環境と調和した社会を実現

これらの実現に向け、道では、産業界、大学、研究機関や金融機関などの関係者と協力し、科学技術を生かしたさまざまな施策を進めています。詳しい取り組みについては中面をご覧ください。

ほっかい家族

作：ヤマモトマナブ（第1回北のまんが大賞 大賞受賞）

高い所? 危険があるときは 地震や津波の 高い所に 逃げるんだよ

上! 上! 上! 上! 上! 上!

高い所? 高い所? 高い所? 高い所? 高い所? 高い所?

あんなに 変わらない

じゃあ パパの 上! 上! 上!

津波の危険があるときは? 詳しくは中面へ

AIやIoTなどに関する研究開発

道内の大学では、AI¹やIoT²などの先端技術を活用した研究開発が行われています。

このため道では、こうした研究開発の実用化に向けた取り組みを支援し、農林水産業や製造業などさまざまな分野において、生産性の向上や人手不足への対応といった地域課題の解決につながることを目指しています。

その一つとして、11月8日(木)、9日(金)にアクセスサッポロで開催される「ビジネスEXPO」において、「道内のAI・IoT」コーナーを設置し、AIを活用した融雪システムや衛星・ドローン画像による農地分析などを紹介し、道内企業などで先端技術を活用した新たな取り組みの創出を促進していきます。

海の中を「見える化」するICT[※]漁業で 人と地域に貢献したい。



公立はこだて未来大学 教授
和田 雅昭さん



従来の漁業は自然相手の不安定さがあり、重労働が伴うことから、現場はまさに命がけ。漁師さんの働く環境に役立つ仕事がしたいと、私が15年ほど取り組んでいるのが「ICT漁業」です。

例えば、水温を計測して漁業者にリアルタイムで提供することで養殖業に役立ったり、漁船の動きや毎日の水揚げのデータの「見える化」をすることで、ナマコの分布状況の把握や魚群予測に生かしたりなどができるようになりました。

近年では、漁の現場も様変わりし、高齢の漁師さんがスマホやタブレットを駆使して計画的な出漁の準備や資源管理に役立っています。

「獲る」「売る」「資源を守る」ためにICT漁業の質を高めて経営戦略に生かし、地域の発展に貢献できたらと考えています。



※ICT/情報通信技術

タブレットを使って漁船でデータを共有

ものづくり産業の技術力を強化

北海道立総合研究機構(道総研)工業試験場では、道内企業の新製品・新技術の開発や高付加価値化、生産工程の改善といった取り組みを行うとともに、その成果を活用して、技術相談や技術指導などの支援を行っています。

また、道内各地の産業支援機関と連携した技術支援なども行っています。

こうした取り組みの一環として、11月には食料品製造業の生産性向上につながる「ロボラボ」を新設します。また、来年3月には寒冷地対応のIoT製品の開発支援拠点として、低温試験室などを備えた「寒冷地ものづくりラボ」を新設する予定です。

食品業界のロボット導入を支援する 道内初の施設が誕生します。



地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
産業技術研究本部 ものづくり支援センター長
飯田 憲一さん



11月20日、道総研の工業試験場内に開所予定の「ロボラボ」は、食品加工現場へのロボット導入を促進する道内初の施設です。

道内の主力である食料品製造業は近年、深刻な人手不足に直面しており、ロボット導入による省力化が課題となっています。

そこでこの施設に各種ロボットやセンサーを整備し、実践的な研修を行い、道内食品メーカーにおけるロボット導入の担い手を育成していきます。

また、施設では多品種少量生産や不定形物など、食品加工現場特有の課題に対応したロボットの作業シミュレーションができることから、食品加工現場の技術課題の解決や新たなロボット活用技術の研究開発なども行い、ロボット導入に関する総合的な支援に取り組んでいきます。



「ロボラボ」の完成イメージ(画像提供:カワダロボティクス(株))

ものづくり支援センター

こんにちは!
赤れんが
お問い合わせは
▶マークの窓口、またはホームページへ。

毎年10月は どさん子体力アップ強調月間

道と道教育委員会では、毎年10月を「どさん子体力アップ強調月間」に設定。学校、家庭、地域、行政が一体となって、子どもたちが体を動かす機会を充実させ、楽しみながら体力向上に取り組むことのできる環境づくりを推進しています。

道内各地で開催されるスポーツイベントのほか、家庭などでできるエクササイズなどがありますので、ぜひ生活に取り入れてみてください。

【短縄跳び選手権】

- 日時/10月28日(日) 13~15時
- 会場/北海きたえーる
(北海道立総合体育センター)

※参加には、当日行われるレバンガ北海道vs栃木ブレイクスの戦のチケットが必要です。

【なわとびスキル】

初級から上級、グループ編など、11動画を配信しています。

なわとびスキル 北海道

【チョコット・ダンス】

「短時間でリフレッシュ」をテーマに、手軽に体を動かせるよう考案したダンスエクササイズです。

チョコ・ダン または チョコ・ダンII

どさん子体力アップ強調月間

▶道教育委員会健康・体育課
☎(011)204-5752

環境道民会議設立20周年 記念事業を行います

北海道の環境保全活動の推進を目的とした「環境道民会議」が、設立からことしで20周年を迎えます。

そこで、設立20周年と北海道命名150周年を記念し、植樹会とSDGs(持続可能な開発目標)をテーマとするフォーラムを開催します。



環境忍者 えこ之助

【植樹会】

- 日程/10月13日(土)
- 会場/道立野幌森林公園
- 内容/エゾヤマザクラ150本の植樹

【フォーラム】

- 日程/10月10日(水)
- 会場/北海道博物館
- テーマ/SDGs

※この事業は全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです。

◆参加者募集(植樹会・フォーラム)

環境道民会議

▶道庁環境政策課 ☎(011)204-5188

40歳になったら 特定健康診査の受診を

肥満症、高血圧症、糖尿病などの生活習慣病の多くは自覚症状のないままに進行します。重症化すると、命にかかわる病気を引き起こす危険性もあります。

適切な運動、野菜をしっかり取る食生活、禁煙を心掛けるとともに、40~74歳までが受診できる特定健診で、生活習慣病を予防しましょう。

▶道庁国保医療課 ☎(011)206-6494

住宅・土地統計調査に ご協力ください

総務省統計局では、10月1日現在で、住宅・土地統計調査を実施します。



この調査は、国民の住生活に関するさまざまな施策の基礎資料を得ることが目的で、全国約370万世帯(北海道約18万世帯)の方を無作為抽出して行う大規模な調査です。

調査期間中、統計調査員が調査書類を配布しますので、調査へのご協力をお願いします。

▶道庁統計課 ☎(011)204-5144

赤れんが庁舎改修事業への 寄附を募集しています

国の重要文化財でもある北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)は近年、劣化が著しく進行しています。そのため、道では赤れんが庁舎の歴史的価値を保存し、次の世代へ引き継ぐための大規模改修工事を2019年度より実施することとし、ふるさと納税などによる、改修事業への寄附を募集しています。

詳しくはホームページをご覧ください。詳しくはホームページをご覧ください。



赤れんが庁舎改修事業

▶道庁総務部総務課 ☎(011)204-5055

ブロック塀の 安全点検のお願い

ブロック塀を所有・管理している方は、防災対策として、次のチェックポイントをもとに、安全点検を行ってください。

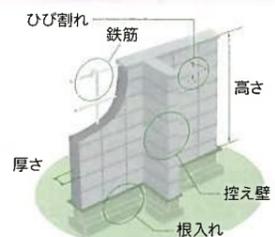
1~5をチェックし、一つでも不適合がある場合は危険なので、付近通行者への注意表示と、塀の補修や撤去を行いましょう。塀の内部については専門家に相談してください。

〈チェックポイント〉

- 1 塀の高さは地盤から2.2m以下か
- 2 塀の厚さは10cm以上か
※塀の高さが2m超2.2m以下の場合には15cm以上
- 3 塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか
※塀の高さが1.2m超の場合
- 4 コンクリートの基礎があるか
- 5 塀に傾き、ひび割れはないか

〈専門家に相談しましょう〉

- 塀の中に直径9mm以上の鉄筋が縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか
- 基礎の根入れの深さは30cm以上か
※塀の高さが1.2m超の場合



※出典:国土交通省ホームページ

ブロック塀に関する相談は、お住まいの市町村の建設担当課または各総合振興局・振興局の建設指導課にお問い合わせください。

▶道庁建築指導課 ☎(011)204-5097

人工衛星データを活用したビジネスの創出

近年、人工衛星からのデータは、質・量とも大幅に向上しており、AIやIoTなどの新しい技術と結びつくことによって、今後はさらに利用拡大が見込まれています。特に、広大な北海道では、広範囲を把握することのできる衛星データの特徴を生かすことで、農林水産業をはじめ幅広い分野で作業の効率化や農産物などの品質向上につなげることが期待されています。

このため道では、衛星データを利用した新たなビジネスの創出を図るため、企業、専門家、研究機関、関係団体などとともに「北海道衛星データ利用ビジネス創出協議会」をことし4月に設立しました。この協議会では、衛星データ利用に関する情報提供や会員からの相談への対応、事業化に向けた検討などを進めていきます。

超小型衛星を活用した国際協力で、アジアを取り巻く共通課題に取り組みます。



北海道大学 教授
(北海道衛星データ利用
ビジネス創出協議会アドバイザー) 高橋 幸弘さん



これまで、宇宙開発は主に大国の宇宙機関によって行われてきましたが、近年は技術革新や開発コストの低下により、大学の研究室や民間ベンチャー企業なども参入できるほど身近になりました。

私が約20年前から取り組んでいる超小型衛星の開発もその一つ。地上や雲などを世界最高解像度で撮影できるカメラを開発し、波長の短いものから長いものまで約600種類の光を撮影することによって、病気にかかった農作物の場所を特定したり、森林火災の起きやすい場所を見分けたりすることができます。

現在は、アジアで深刻化するこうした課題に対応するため、北大からアジアの新興国8カ国に参加を呼びかけ、国際協力で衛星の運用を共有化する新たな仕組みづくりを進めています。



2014年に打ち上げた50kg級の超小型衛星

ICTなどを活用した働き方改革

意欲や能力のある人がいきいきと働ける環境づくりや、企業の人手不足の解消を図るため、道では「多様な人材の活躍」「就業環境の改善」「生産性の向上」を柱として、働き方改革の取り組みを進めています。

その一環として、道の「ほっかいどう働き方改革支援センター」では、電話や来所による企業の相談に無料で応じるなど、企業が進める働き方改革の取り組みをワンストップで支援しています。

また、近年では、ICTなどを活用した働き方改革に取り組む道内企業も増えており、事例の共有化を進めています。

▶道庁働き方改革推進室 ☎(011)204-5354

▶ほっかいどう働き方改革支援センター ☎0120-495-595(相談専用電話)

ほっかいどう 働き方改革 検索

ICT施工をいち早く導入し、現場の生産性向上に役立っています。



株式会社 砂子組
企画営業部長・ICT施工推進室長 真坂 紀至さん



土木・建築工事を柱とする当社の経営の基本は「人材育成」。少子高齢化に対応するため、建設現場での生産性向上を図ろうと、約10年前から取り組んでいるのが、施工全般でのICT活用(ICT施工)です。

例えば、建築工事の受注から検査・納品までを一元管理するシステムを導入したことで、書類作成の労力が大幅に軽減され、若手社員の活躍の場も増えました。また、土木工事現場でも、複雑な工事情報を三次元データによって「見える化」し、工期短縮や省力化などに役立っています。

こうしたノウハウを次世代に継承するため、当社は、協定先の岩見沢農業高校で連携授業を担当しており、ICT施工を農業・土木に生かす指導も行っています。



確認作業などを大幅に削減したICT対応の重機

まさかは必ずやってくる 防災ガイド



命を守る大切さを語りつなぐ代表
三浦 浩さん
(北海道防災教育
アドバイザー)

1993年7月に発生した北海道南西沖地震から、ことしで25年目を迎えました。

私自身の被災経験から、津波の恐れのある地域では、「揺れたらすぐ高いところに逃げる」ことが何より大切と実感しています。命を守るため、右記のことに気を付けるほか、いざというときの避難ルートや場所について、あらかじめ家族で話し合っておきましょう。

五つの約束

- (家)に戻るな!
- (迎えに)寄るな!
- (帰りを)待たな!
- (荷物を)持たな!
- (家族を)捜すな!

▶道庁危機対策課 ☎(011)204-5008 防災・災害情報は 北海道 危機対策 検索

地震は津波のチャイムです!

津波から命を守る五つの約束。

おすすめ! 地域から



留萌振興局 深川・留萌自動車道全線開通へ

2019年度の深川・留萌自動車道全線開通に向け、留萌エリアを盛り上げようと、「深川・留萌自動車道全線開通地域

活性化協議会」が設立されました。

その活動の一環として、11月30日(金)まで「日本海オロロン街道 よくばりスタンプラリー」を実施しています。留萌管内8市町村のイベント、飲食店、道の駅などが対象で、豪華景品が当たるチャンスも。まずは左記のQRコードにアクセスして、ボーナススタンプを手に入れてください!

▶地域政策課 ☎(0164)42-8421



地元の特産品などが当たる!



スタンプラリー専用サイト

日高振興局

第9回日本ジオパーク全国大会・アポイ岳大会開催

10月6日(土)~8日(月)に様似町で、日本ジオパーク全体の取り組みの活性化や情報発信などを目的とした「第9回日本ジオパーク全国大会・アポイ岳大会」が開催されます。

期間中、世界ジオパークネットワークのニコラス・ゾウロス会長や、漫画「ゴールデンカムイ」アイヌ語監修の千葉大学・中川裕教授による講演のほか、地元物産展やジオパーク体験ワークショップなども予定しています。



様似町の鶴舌地区から望むアポイ岳

第9回日本ジオパーク全国大会 検索 ▶地域政策課 ☎(0146)22-9073

道議会

定例会の概要などをお伝えします。

平成30年第2回定例会(6/19~7/6)

定例会の概要

知事から予算案2件(総額41億7,000万円)と条例案4件、その他の案件3件が提案され議決されました。また、議員及び委員会から提出された決議案1件、意見案8件が原案可決されました。



本会議(一般質問)や予算特別委員会の主な質問は次のとおりです。

- JR北海道の路線見直しに関し、収支改善が見込めない場合の路線廃止を含めたJR北海道の検討方針に対する今後の対応について
- 統合型リゾート事業に関し、地域経済や雇用、ギャンブル依存症対策など、今後の考え方や誘致の判断について
- 稲、麦、大豆の種子生産を都道府県に義務づけた主要農作物種子法の廃止に関し、種子生産の取り扱いについて
- 林業大学校の設立に関し、学校の運営体制の構築など、具体的取り組みについて



予算特別委員会からは、審査経過を踏まえ、JR北海道の路線見直し、統合型リゾート施設、インバウンド観光の振興、企業の人手不足、公文書管理のあり方などについて意見が付けられました。

主な議決の状況

◎知事提出案件

●予算案 2件
「平成30年度北海道一般会計補正予算(第1号)」など

●条例案 4件 / その他案件 3件
「北海道病院及び診療所の人員及び施設等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案」など

◎議員・委員会提出案件

- 決議案 1件
「受動喫煙ゼロの実現を目指す決議」
- 意見案 8件
「地方自治体における消費者行政の充実・強化を求める意見書」など

■カルチャーナイト2018(7月20日開催)



カルチャーナイトでは、多くの見学者が道議会を訪れました。当日は、旧議事堂などのパネルを展示し、職員の説明による議場見学を行いました。

~ホームページをご覧ください~

道議会ホームページでは、議会中継・録画、議会の日程、会議録、傍聴・見学のご案内などをご覧いただけます。[北海道議会] 検索

~議会の詳細について~

道議会では、定例会ごとに質問などの詳細を記載した冊子「北海道議会時報」を作成しています。

ホームページに掲載されるほか、市町村役場等に配布しています。また、希望者への配布も行ってまいりますので、下記議会事務局までご連絡ください。

▶議会事務局政策調査課 ☎(011)204-5691

平均年齢71歳! 認知症予防や
詐欺被害防止など身近な問題を芝居に

くしろ高齢者劇団/釧路市

ほっかいどう
未来への 元気遺産!

北海道を元気にする、
人・もの・アイデアを紹介します。

いきいき高齢者編

出演できるのは65歳以上!

映画づくりが高齢者を元気にする

田んぼdeミュージカル委員会/むかわ町

老後の生きがいを求めて、2011年に結成した「くしろ高齢者劇団」。団員数は8人、平均年齢は71歳。認知症予防や詐欺被害防止など、高齢者が日頃抱えている身近な問題をテーマに、観客と一緒に泣いて笑って楽しめる芝居づくりを心掛けています。

脚本や演出も自分たちで手掛け、毎年新しい作品に取り組んでいます。セリフを覚えるのも大変ですが、公演が近づくと週2、3回の練習を重ね、毎年11月には道立釧路芸術館で定期公演、また年5、6回は地域の高齢者施設や病院などで出前公演も行っています。観客は劇団員と同世代が多く、「セリフにリアリティーがある」「若さと元気な姿に刺激を受けた」と好評です。



2017年11月
道立釧路芸術館での定期公演

定年退職後、この劇団に出合っていなければ、毎日テレビを見て過ごすか、病院通いをしていたと思います。仲間と一緒に作り上げていく芝居は、僕にとって生きがい。他のボランティア活動では得られない喜びを感じます。

毎年、オリジナル作品の脚本を書いています。社会福祉協議会や老人クラブから聞いた悩みや課題、新聞記事をヒントにテーマを決め、劇団員の意見も盛り込みながら仕上げていきます。ことしのテーマは嫁姑問題、お楽しみに。

▶お問い合わせ くしろ高齢者劇団事務局 ☎(0154)24-7663

芝居づくりが
定年後の生きがいに。



くしろ高齢者劇団
事務局
佐藤 伸邦さん

2001年、当時の穂別町(現・むかわ町)で開かれた崔洋一映画監督の講演をきっかけに、高齢者たちの映画づくりが始まりました。当時、町民の約4分の1が65歳以上。それを逆に年齢制限し、平均年齢75歳が奮闘する映画「田んぼdeミュージカル」を製作したところ、全国各地で話題を呼び、フランスやニューヨークのメディアに取り上げられ、韓国の映画祭にも招かれました。

その後も、故郷の歴史や鶴川町(当時)との合併をテーマに、老いをパワーに作品をつくり続け、「地域づくり総務大臣表彰」など数々の賞を受賞。林業を取り上げた5作目「ここはわしらの天国だ」の上映会に力を入れながら、化石にとりつかれた男をテーマとした6作目の製作準備も進めています。



「ここはわしらの天国だ」のワンシーン

「撮影中は葬式を出すな」が合言葉ですから、晩酌を控えたり、血圧に気を付けるなど、少しずつお年寄りの生きる意欲が高まっていったのを感じます。

保健師の仕事しながら、映画スタッフとして「この人、あの役に向いているかも」という目線で接することもありました。1作目から映画を見返すと、昔あった家やコスモス畑が、いまはなくなっていることに気づきます。故郷の風景や人々をまちの記録として残すためにも、映画づくりを続け、たくさんの方に見てもらいたいですね。

▶お問い合わせ 田んぼdeミュージカル委員会 ☎090-9080-6063(中澤)

故郷の風景や人々を
まちの記録として残したい。



田んぼdeミュージカル
委員会
中澤 十四三さん

北海道
150年

なるほど! 知るほど! 物語

北海道ならではの食の由来や知られざる歴史を紹介します。

明治・大正時代、「札幌黄」は世界へ輸出されていた/札幌市

北海道のタマネギは、1871(明治4)年、開拓使の札幌官園で試験栽培されたのが最初です。その6年後、米国から札幌農学校に着任したブルックス博士が、札幌黄の原種「イエロー・グローブ・ダンパース」を持ち込み、札幌村(現・東区)の農家に栽培指導を行いました。やがて、栽培地は篠路村や白石村(現・北区、白石区)、道内各地へと広がり、明治後期から大正にかけて、ロシアやフィリピンなど海外へ年間約2千トンも輸出されていました。



肉厚で熱を加えると甘みとろみが出る札幌黄



直播の様子/札幌村史(昭和25年)より

1978(昭和53)年ごろから収穫が安定している他品種が出回るようになり生産量は激減しましたが、「食の世界遺産」といわれるスローフード協会の「味の箱舟」*に認定され、再び脚光を浴びています。札幌村郷土記念館では、札幌黄の歴史を学ぶことができます。

*絶滅の危機に瀕しながら、地域に根差した価値ある食材を守ることを目的。

▶札幌村郷土記念館 札幌市東区北13条東16丁目2-6 ☎(011)782-2294

当たる! おいしい北海道

函館米穀(株)の平成30年産新米「北海道産ふっくりんこ」(5kg)をプレゼント!

抽選で30名様

次のアンケートに答えて道産品を当てよう!

10月号の中で興味を持ったのは、どの記事ですか。

- ①特集(科学技術で描く、未来の北海道)
- ②こんにちは! 赤れんが
- ③おすすめ! 地域から
- ④みんなの防災ガイド
- ⑤未来への元気遺産!
- ⑥なるほど! 知るほど! 物語

●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

- 応募方法: アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。
- 応募期限: 10月26日(金)必着 応募いただいた方の個人情報、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。
- 応募先: ハガキ 〒060-8588(住所不要) 北海道広報広聴課「当たる! おいしい北海道」係
- 携帯サイト
- パソコン 広報紙ほっかいどう 検索
- 掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧も上記からアクセスできます。*8月号のプレゼントには、3,361件の応募をいただきました。



北海道の人口	総人口	男	女
平成30年7月末	5,314,954人	2,510,222人	2,804,732人
前年同月比	34,604減	16,488減	18,116減

*人口は毎月公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

次号のお知らせ 12月号は11月21日(水)に配布開始の予定です。

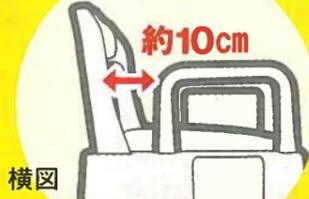


みんなの文字

この広報紙は環境に優しい植物性インキを使用しています。本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

重要なお願ひ

セキスイ製
ポータブルトイレを探しています



!! 約10cmのすき間に首などを挟む恐れ



イメージ図

ポータブルトイレをご利用の方は是非ご確認をお願いいたします。

対象製品は回収し、代替品と交換いたします。

積水化学工業株式会社 ポータブルトイレ交換窓口

☎0120-011-578 (無料)

受付時間 / 9:00~19:00 (土・日・祝日・年末年始除く)

FAX 0120-231-756 Eメール products_i@sekisui.com

所在地 / 〒105-8450 東京都港区虎ノ門 2-3-17



SEKISUI

※この広告は、広告主の責任において北海道が掲載しているものです。

チェック 家でのご食事や外食などで食べ物を残していませんか? 道では、食をいとおしみ、食べ残しをしない、出さない「ご愛食食べきり運動」を進めています。